

地域のみなさまに支えられて



新年あけまして、おめでとうございます。

今年は、雪のお正月になりました。幼稚園の周りも長靴がすっぽり入るくらい雪が積もり、深いところは50cmくらいもありました。わたしたち職員で雪かきをしましたが、幼稚園の玄関の前の雪をどかすのが精いっぱい、このままでは3学期の始業式の日、駐車場に車が入れないかもしれないと心配になってしまいました。

そこで、1月6日(木)、小学校の松野校長先生と二人で幼稚園の前の佐藤工業さんに、雪かきをお願いに伺いました。するとすぐに、重機を使って雪かきをしてくださることになりました。

次の日、1月7日(金)、朝の9時過ぎから、佐藤工業のみなさんが4人も来てくださいました。1人はホイールローダーという大きな機械で駐車場の雪をどンドンかいていき、他の3人の方はスコップや雪かきで機械の入れないところや残った雪を丁寧に片づけていきます。プール脇の駐車場から始めて、小学生が通る通路をかいて、そして小学校の駐車場、その次は幼稚園の先生方の駐車場をきれいにし、さらに園庭にも、歩けるようにと通路をまっすぐに作ってくださいました。さすが、プロの方々の仕事です。ここまでかかった時間は、わずか1時間くらいです。

そのあと小学校の玄関前や校舎の裏の駐車場の雪かきもして下さったそうです。お昼過ぎには幼稚園から小学校まで、すっかりきれいにしていただきました。地面が黒く見えるようになったところもあり、これで保護者のみなさんも安心して子どもたちの送り迎えができると思い、ホッとしました。

もしも、積もった雪がそのままだったら、駐車場で車が動けなくなるかもしれません。雪の下の段差に気が付かず、子どもやお母さんが転んでけがをしないとも限りません。

雪がだんだん解けて無くなってしまふと、このような雪かきをしていただいたことは、外からは「見えなく」なってしまいます。しかし、こういう「見えない」ところで黙って支えてくださる方々のおかげで、わたしたちは、毎日を何事もなく過ごすことができるのだと思います。

幼稚園の教育は、そういう地域のたくさんのみなさまに支えられて成り立っています。

今年もみなさまへの感謝を忘れず、子どもたちの教育に精一杯取り組んでいきたいと思っています。